

第11回とよた絵本コンクール最優秀作品



おもいで は かぜの なか

さく はやしゆか

第11回とよた絵本コンクール最優秀作品

おもいでではかぜのなか



さく はやしゆか

はるやすみ だいちゃんとなあちゃんは
おばあちゃんのところに きました。
「おにぎり おいしいな〜。」
「ねえ おかあさん。
おかあさんが こどもだったころの
おはなし きかせて！」
「ええ いいわ。」



「おかあさんは おうちのうらのレンゲばたけで あそんだのよ。
レンゲのおはなで ^{くび}首かざりつくったのよ。」



「やさしいおばあちゃんが だいすきだったの。
レンゲのおはなのミツが あまいんだって
おしえてくれたのも おばあちゃん。」



「はたけのとなりには たんぼが つづいていてね。
たうえも てつだったの。
なつになると イネが ぐんぐんおおきくなってね。
カメも つかまえたんだよ。」



「あのときの おばあちゃんのおにぎり おいしかったなー。」

「ぼくは おかあさんのおにぎりが いちばんすき！」

「わたしも！」



「あきには イネかりをしたの。

おじいちゃんのコンバインが ゴゴ〜ッと うなっていてね。

こがね色いろのうなばらを わたっていくようなきぶん気分。

香こうばしいかぜを いっぱいうけてね。」



「かったイネは ^{かわ}皮をむいて
その皮を ^{かわ}おにわに つみあげておくの。
そこが おかあさんのおしろ！」



「ふゆには ゆきがふると おさらにあつめて
おさとう かけて たべたのよ。」
「ゆきのかきごおりだ！」



「うーんと さむい^ひ日には
おばあちゃんのだんご^じ汁を たべたのよ。」

そのとき でんしゃが えきにつきました。

「おかあさん！とうちゃくだよ！」

「あばあちゃんちまで あとひといきね。」



「とおいところ よくきたねえ。」

「げんきそうで よかった。」

おにわも おうちも むかしのまんまね。」



「おかあさ～ん みて～！」

「レンゲのミツ ほんとうに あまーい！」

「あなたのちいさいころに そっくりね。

また いつでも かえっておいで。」

「うん ありがとう。おかあさん。」



著者プロフィール

林 友香

春日井市在住

絵を描くことが好きです。

3歳の男の子、5歳の女の子とのにぎやかな日常の中で感じたしあわせなきもちを、おはなしにして残していきたいと思っています。

著者コメント

子どもの頃、祖父と祖母と過ごした田舎での日々は、いつまでも色褪せることなく記憶に残っています。

あの頃の豊かな思い出を自分の子どもたちに伝えられたらと思い、一つ一つの場面を心を込めて描きました。

とよた絵本コンクール

とよた絵本コンクールは、2003年から愛・地球博のパートナーシップ事業として始まり、心のこもった夢あふれる絵本を通じて、次の世代を担う子どもたちに、21世紀に生きるためのメッセージを残そうとするものです。



おもいででは かげのなか

2014年2月28日 初版第1刷発行 著者／林 友香（はやし ゆか）

発行／豊田市中央図書館 〒471-0025 豊田市西町1-200

印刷・製本 東名印刷株式会社

◎第11回とよた絵本コンクール 主催／豊田市中央図書館 主管／とよた絵本コンクール実行委員会
後援／公益財団法人豊田市文化振興財団

